



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O TOSHINIDE AKIZUKI
8-3-410 NISHIKURACHO ASHIYA
HYOGO JAPAN

JANUARY 1998. No. 7
The Service Club to the YMCA
Chartered September 25, 1982

MOTTO (1997~1998)

○IP & AP

"REALIZING TOGETHER OUR VISION"

2000 CLUBS TOWARD THE YEAR 2000

"共に目ざそうビジョンの実現-2000年2000クラブ"

○RD "ビジョンを掲げ、青年と共に働くワイズ"

Let's serve hand in hand with Youths under Y's Vision!

○DG "新たな感動 新たな奉仕"

○CP 『友と語ろう、生き甲斐を見つけよう、感謝を形にしよう』

= 月間強調テーマ: 「IBC・DBC」 =

🎉 A HAPPY NEW YEAR ☆ HAUOLI MAKAHIKI HOU ☆ 恭賀新禧 ☆ あけましておめでとう 🎉



= 1月の聖句 =

「だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた (のです)。」

(コリントの信徒への手紙(2), 5章17節)

《今月の聖句に寄せて》

誰もが新年を迎えると「今年こそ」という新たな気持で前進を決意するものです。その陰には過ぎ去った年の「捨て去りたいもの」を脱ぎ捨てたい気持があるからでしょう。

聖書では「キリストと結ばれることによって新しく創造される」と教えていますが、キリストへの信仰による再生こそ真の自己変革をもたらすものと信じています。

新しい年には私たちのクラブを新しく活性化させたいものです。そのためには、会員一人一人がクラブの為に何が出来るかを考え、それを実践することだと思います。少なくとも傍観者の立場である限りクラブ例会の楽しさも味わえず、ワイズメンズクラブの真価を理解出来ないでしょう。

クラブの為にも自分の為にも、発言し行動する年にいたしましょう。

(聖句選・解説: 黒田巖之)

== 1月第1例会 ==

日時：1998年1月21日(水) 6:30~8:30 p.m.

場所：リーガランドホテル

司会：堀井 由里子君

1. 開 会 点 鐘 藤原 正巳会長
2. ワイズソング 一 同
3. 聖 句 朗 読 角 正信君
4. ゲ ス ト 紹 介 藤原 正巳会長
5. 日々の糧及び黙 禱 一 同
6. 晚 餐 一 同
7. クラブ総会(次期クラブ役員選出) 一 同
8. 卓 話 「東洋医学と健康について」
池永 栖子君
9. お 誕 生 日 祝 い 一 同
10. ニコニコ献金 ドライバー
11. 役員会・委員会報告・YMCAニュース
12. 閉 会 点 鐘 藤原 正巳会長

= 1月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people

掛江君 1日, 中村メネット 1日, 福永君 9日,
三浦君 16日, 津田葉君 17日, 堀井君 22日,
池永メネット 25日, 角メネット 31日

=====

○1月第1例会当番：(第1班)

中村君, 福永君, 角 君, 池永(栖)君, 神田君,
堀井君 *会場の受付・準備・後片付等宜しく。

= 12月第1例会報告 =

(12月17日(水) 6:30p.m.)

隅田 保

12月は恒例のクリスマス例会。今年は、久し振りにセンテニアル単独で開催され、会場のリーガランドホテルは、素晴らしい雰囲気で大いに盛り上がりました。

谷川メンの司会で、第一部は通常の例会。藤原会長の点鐘で始り、ゲスト紹介(本当にたくさんの方の出席を頂きました-感謝)のあとは入会式が行われました。新メンバーは芳崎栄治君。いつもながらの厳粛な雰囲気の中で式は進められ、新しいメンの誕生を出席者全員で祝福。どうか本日参加のゲストの中からも仲間が増えますようにと思いながら、お誕生日祝い・役員会報告・YMCAニュース(YMCA協力会費納入促進の依頼もありました。)と進み、第一部終了。



(入会の宣誓を終えて藤原会長よりバッジを受ける芳崎栄治君)

第二部は、池永栖子メンの司会で進行。鈴木メンの乾杯で会食。飲みものとホテルのパーティ料理を皆で楽しみました。そして、皆んなで歌おうクリスマス。福永メンの名指揮で“GLORIA”と輪唱で“MAGNIFICAT”の2曲、最後は“きよしこのよる”の斉唱でクリスマスを祝いました。

次はゲームの神田メンの登場。参加者にゲームを楽しむ方法は、①恥しさを忘れる、②我を忘れる、③童心に帰える、の3点を強調して、良く理解の出来ない(多分皆アルコールのせい)お遊びを楽しんだものです。

ここから秋月メンの出番。皆が心をこめて持ち寄ったクリスマスプレゼントの交換を、ジャンケンで何回も勝った人から選択。包みを開けてあちこちから歓声が上がりました。続いてラッキードロー。これは会の最初から中村コメットの2名が完売に努力していただいたもの。ホテルから寄贈のペア食事券は、福永メネットに当り、やんやの喝采。シクラメンの鉢が10名に(いつも当る人は決っているとの声あり)大当り。あたった人にシクラメンの歌を歌って欲しいとの要望があり、西クラブの北村さんがアカペラで代表して歌ってくれました。

クリスマス献金は ¥40,850 全額大阪YMCAへプレゼント。最後に今月の敢闘賞はEMTとしていつも会を盛り上げていただく秋月メン、そして中村コメットに贈呈。

参加全員で記念撮影を栗山メンのカメラで撮り、無事お開きとなりました。

出席者は、ゲスト25名、メネット9名、コメット3名、メン19名、計56名でした。

= 1 2 月 第 2 例 会 報 告 =

(12月25日(木) 6:30p.m.)

書記 三浦直之

1. 1月第1例会プログラム：(別掲の通り)
晩餐後クラブ総会にて次期クラブ役員を選出する。
2. 2月第1例会(2/18)プログラム：
秋月君提案により、古切手整理を全員にて行う。
時間内で整理し切れなかったものは、持ち帰って整理することにする。
3. クリスマス例会総括：
 - ・会場・食事の内容等、満足のいくものであった。
 - ・チケット購入の方法に徹底されていない面があった。
 - ・ラッキードロー収益金をクラブファンドに入金する。
4. 新年度役員人事を検討する。(1月第1例会のクラブ総会に提案する)
5. その他
 - (1)第2回中西部評議会報告：
 - ①中西部合同新年会(1/15)：当クラブよりの出席予定メン11名、メネット2名、連絡済み。
 - ②EMCアンケート調査：クラブ用、個人用共にクラブで纏めて1/31までに中西部事業主査へ提出。
 - ③BFアンケート調査：切手の換算評価方法を何度も変えないでほしい、一度決めた方法は継続して適用してほしいとの意見あり。
 - ④お年玉切手、TOFポイントについて：提供されたお年玉切手は、クラブで買って現金で西日本区へ送金する(切手はブリテン郵送等に使用する)
 - ⑤98/99会長研修会：3/14, 15開催予定。
 - (2)15周年記念エンゲウメントファンド(EF)の件：
11月記念例会で集まった記念募金46,000円をEFとして支払った300ドル(37,500円)に充当し、残金は一般会計に組み入れる。
 - (3)芦屋クラブ設立総会(1/31, 於 ホテル竹園)：
当クラブ出席予定5名(報告済み) 以上

お年玉年賀はがき当選・

切手シート収集のおねがい

国際奉仕活動や地域社会奉仕活動の資金作りの一環として、「お年玉付年賀はがき(切手)」4等当選切手シートの収集にご協力をお願いします。

1月15日(水)が抽選日です。

当選はがきは必ず郵便局で交換して1月または2月の例会にご持参下さい。

当選はがきの「下部を切り取ったもの」は無効です。

#シートは80円切手と50円切手各1枚です。

一人当りの収集目標は14シートです。

#切手シートが集まらない場合は現金でカバーして下さい。昨年以前のシートを交えても結構です。

金額換算で合計1,800円が個人目標です。

#2月はまた、リーストコイン(1円玉貯金)の回収月にもなっていますので、ご準備下さい。

(CS・TOF委員 山田孝彦)

= B F 1 2 月 度 報 告 =

(12月度の合計・本年度累計は、下記

BFポイントの表を参照願います)

○切手提供者：

秋月君、栗山君、鈴木君、隅田君、津田葉君、
福永君、藤原君、三浦君、山田君、上月君、
山村君 計11名

○現金提供者：

栗山君、福永君、山田君、山村君 計4名

(BF：山村 幸明)

| 12月在籍者 | 12月 出席者 | | 12月出席率 | BFポイント |
|--------|---------|-----|---------|-----------------|
| 26名 | | | 73.1% | 12月分切手 357 gr. |
| 広義会員 | メン | 19名 | (メンバー計) | 現金 3,000 円 |
| 0名 | メネット | 9名 | 前月出席率 | 本年累計 |
| 合計 | コメット | 3名 | 修正 - % | 切手 2,885 gr. |
| 26名 | ビジター | 9名 | | 現金 22,600 円 |
| | ゲスト | 16名 | | (購"12月BF幣"をご報告) |
| | 合計 | 56名 | 7名 | |

役員

会長：藤原 正巳
副会長：津田葉清政
"：栗山 佳三
書記：三浦 直之
"：坂本 哲朗
会計：秋月 利英

◎クリスマス献金

40,850円

◎ 1 月 第 2 例 会 : 1 月 2 8 日 (水) 6 : 3 0 - 8 : 3 0 p . m . 於 リーグランドホテル* (YMCAへのクリスマス献)

大阪センテニアルクラブ
15周年を迎えて (続)

初代会長 山中 秀男

次に出張の折訪れた各国のYMCA、Y'sメンの活躍を紹介したいと思います。

最も最近訪れたのはNew York, Frost valley YMCAです。本間立夫さん、恵美子さんご夫妻が頑張っておられます。

奥さんの恵美子さんは、京都市・名誉市民第一号、同志社大学総長を長くしておられた牧野虎次さんのお孫さんで、鈴木さんが大丸常務時代、大丸心齋橋店長をしておられた牧野光常務の姪御さんです。

New York Frost valley YMCAは、東京YMCA、東京Y'sが全面的に支援している所で、是非訪問したい所でした。出張の予定を一日早め、八月の最終土曜日に成田を立ち、土曜日にN.Y.ケネディー空港到着。当社のN.Y.支店長と直接ニューヨーク北部にある保養地キャススキル地方(中心の街がタキシードシティで、パーティーの常服フロックコートから下を切り落としたタキシードを流行させた所) Frost valleyに向いました。

いくつもの料金所がありますが、従来通り料金を現金で払う所とEasy-pass sectionがあって、このレーンは料金銀行引落し証明をフロントガラスに張り付け、電光センサーで確認し、通過の時5マイル以下の速度で通過すればOKのサインが出て、渋滞なしですいすい通れます。

成程と感心して1時間半、見渡す限りの山又山、辺り一帯全部がYMCAの所有地です。本間夫妻の説明にもあったように、N.Y.都心のYMCAはすこぶるイメージが悪い。米国での取引先で、YMCAの施設で一泊した話をした時、相手に身構えられてしまいました。そうではないと弁明するのに一苦労だ。残念ながら、米国でYMCAを初対面の人に喋るのは要注意だ。

Frost valley YMCAの活動は立派だ。完全に無借金経営。活動のテーマは環境保護、リサイクル。学校・企業・団体の環境教育と実施を請け負っている。

森の合間にバンガロー、ロッジ、スタッフ宿舎が点在して、数百名収容出来る。チェックインした団体、グループは数名単位でグループ名が付けられる。先ず、食堂がセルフサービスになっており、皿に盛り込むのは自由だが、食器を返す時、残り物共々計器にかけられ、残り物の重量が個人別、グループ別に記録される。食事が繰返される都度に残り物が少なくなり、2、3日すればほぼ0になる。残り物はcompost(発酵)され、有機肥料、有機土壌にして土地に戻される。トイレも紙だけで水を使わない。プロセスを分かり易くするた

めに、装置の下の部分だけ透けて見えるようになっていた。排泄物が下のおがくずのなかに落ち、横に移動して他の生ごみと一緒に発酵処理される。おがくずは酸素の吸入にも役立つ。日本からも、兵庫県の生協新入社員150名が、昨年から2泊3日で研修を受けている。

このFrost valleyの近くにハイソサエティーの別荘が目立つ。YMCAの活動を見学してもらい、協力と支援を受ける。大半の人が遺言状の中にYMCAへの寄付、寄贈を申出られ、現在の所有の大半がそうして得たものだと聞きうなずける。

YMCAの理事会の都度、この有意義な運動をより広く推進するため出張の都度、航空保険の受取人をYMCAにしようと発議され、それが不文律になっている。

本間夫妻の活動もエネルギーで、Frost valleyの皆から愛され尊敬されており、International Friendship houseと名づけた宿舎を提供されている。新築間もない建物で、建坪200坪、2階建て、日本の座敷、居間、桧の風呂を備え、ゲストルームも数室ある。周りに桜の木が植えられ、私も竹林基金をしました。

次にミャンマーのYMCAにも訪問しました。大丸ミャンマー池谷支店長も学生時代ヤンゴンYMCAに住んでいたというので、よく知っていた。ミャンマーではYMCAは文化、医療、職業訓練の中心でなかのしまY'sの山地さんの名前は尊敬の念を持って語られていました。

上海YMCAは微妙です。今日まで生き残っているのは反日抗戦への実績が評価されての事で、上海がYMCAの活動の中心になっており、日本語の上手なスタッフが数名います。最近では、東京YMCAに研修生を送り込み、次の時代の活動が始まっています。

韓国も儒教、仏教の国からキリスト教の国に大勢が動いており、世界で最も活発に教会、YMCA運動がされていると感じます。

台湾のYMCA、Y'sは、東京Y'sとブラザークラブであり、全くフランクで友情を感じます。

ベトナムはキリスト教(主にカトリック)は盛んで、どんな小さな村にも教会が立ち、集会場、保育園を併設していますが、YMCAもY'sもありません。

シンガポールもYMCAはありますが、Y'sはなし。YMCAの活動は組織だって立派だという印象を受けました。

以上雑然となりましたが、近々古巣センテニアルクラブにメネット共々訪問させていただきます。

ご清聴有難うございました。

.....

-(後日談2題)-

① ニューヨークのハイウェイ料金所で、5マイル以下に減速して通過すれば、Pre-paid方式で処理され

(次頁へ続く)

(顔より)

るのを見てびっくりしたと報告したが、先日香港から深圳に行った時驚いた。香港の高速道路は減速せずそのままでのスピードで走りつづけてO.Kだ。香港の方がこの点でははるかに進んでおり Auto passと称し、credit card で自動引落しになっている。

② プリンズ・エドワード島のY's cows shop, センテニアル名の先達プリンズ・エドワード島Y'sクラブの話をも前の国際会長竹内敏郎さん(神奈川県立真鶴半島自然公園にあるホテル一望閣代表取締役、現熱海グローリークラブ会員)に先日話していたところ、実はカナダのプリンズ・エドワード島にある国立公園キャベンデイスに物販とレストラン“cows”を共同経営しておられる。その共同経営者がスコットランド系カナダ人チャールズ・リンクレター氏で、Y'sバレンタイン賞を受賞した人物、ホテル業を営んでおり、息子スコットの経営しているのが“cows”だ。プリンズ・エドワード島にコンフェデレーション橋も出来、年間100万人の観光客が訪れ、特に7・8・9の3ヶ月、日本から20才代の女性を中心に大勢来られるので、センテニアルのメンバーもどうぞとの事であった。

*注: この“後日談”は12/26/97 FAXで送られてきた文書です。山中元会長の御懇情に心から感謝いたします。(Y.F.)

..... menette corner

= インフォメーション =

メネット会長 中村 幸枝
新年おめでとうございます。本年もメンを助け、メネット会を楽しみたいと思います。どうぞ昨年のように素晴らしいアイデアをお待ち致しております。

= メネットだより =

“なかのしま”のクリスマス会に出席して

メネット会長 中村 幸枝
12月10日、センテニアルの多くのメン・メネットと参加致しました。ポットラックだそうで、手料理が色色と並んで、テーブルの上は花が咲いたようでした。技術的にはかなり高度であろう影絵には魅了され、コメットを連れて来なかったことを、一人悔んでおりました。声を合わせたクリスマスキャロル、「祈り」も一言一言が心に浸みて、雪の日の朝のように、会場は白く輝いているかのように思えました。

“なかのしま”とは、心あったかい人たちの「堅実さ」・「夢」が礎なのかも知れないと思いつつ、幸せのうちに帰路につきました。“なかのしま”に心からの拍手を送らせて頂きます。***

理事通信(12/1)より

(抜粋)

○第2回西日本区役員会開催(11/15, 16):

大阪の東洋ホテルにて、鈴木謙介、岩越重雄名誉理事をはじめ全役員、特別委員長など計43名が出席し開催された。熱心な協議が続き、ユースプログラムへの支援・学生YMCAへの資金援助・YMCAサービス・ASF, CS, TOFの各事業委員会より提出された日本YMCA同盟への資金援助・国際加盟認証状伝達式マニュアル・EMCアンケート・コメットアンケートなどが決まった。

○日韓ワイズメンズ会議開催(11/29, 30):

東京YMCAにて日韓ワイズメンズ会議が開催された。

○「日本ワイズメン運動70年史」発行(12月):

今期のチャーターメンバー、新入会員には区より贈呈させて頂くが、メンバー全員に一冊づつ購入をお願いすることに役員会で決まっている。ご協力をお願いします。

○国際ワイズ75周年記念誌発行:

1冊\$15と\$100(特別記念版・限定250冊)の2種類あり、申込書は大阪の西日本区事務所にあるのでお申込下さい。

○芦屋ワイズメンズクラブ設立:

1997年2月から毎月準備会を重ねてきた芦屋クラブが、大阪クラブ・神戸クラブのスポンサーにより、設立総会を迎えます。

・開催日: 1998年1月31日(土) 13時より

・場 所: ホテル竹園 (☎ 0797-31-2341)

JR芦屋駅北側

・会 費: 10,000円

・申込先: 上野恭男(芦屋市平田町2-8-304)

☎・FAX 0797-32-9360)

○3クラブが周年記念大会開催:

・博多オーシャンクラブ10周年: 11/8

・姫路グローバルクラブ5周年: 11/8

・京都クラブ 50周年: 11/23

○Yサ・ASFエプロン販売報告:

957枚。エプロン販売のご協力有難うございます。

○第1回ワイズメンズクラブ・YMCAフォーラム開催:

11/1, 2六甲研修センターにてワイズ70名, YMCA 37名参加, 『地域に対し、ワイズとYMCAが協働して何が出来るか』をテーマで熱心に協議、お互い理解し合う良い機会であった。毎年開催してはの声多い。

◇◇◇ クラブ・ソング ◇◇◇

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;
We raise our hand, Our service pledge renewing,
Ne're to deny our motto's claim,
Y's Men in fact as well as name,
Always our objects to pursue,
We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに
ともがき ひろがりゆきて
とおきも ちかきもみな
ささげて 立つやワイズメン
さかえと ほまれゆたか
まことは 胸にあふれん

【強調月間 IBC, DBC】 国際、国内の各クラブ間の交流を通じて、それぞれの文化を学び、良いところを採り入れ、クラブの更なる発展を目指しましょう。今年こそ積極的な交流の実行へ。

西日本区中西部 合同新年会

—それぞれの思い 誓い 新しい時代に向かって—
日時：1998年1月15日(祝) 11:30~14:00 (昼:11:00)
場所：大阪YMCA会館ホール
会費：6,000円(メネットも同じ, 中学生以下3,000円, 3才以下無料)

ホスト：大阪土佐堀ワイズメンズクラブ

* 新しく西日本区がスタートして、新しい時代を迎えようとしているワイズメンズクラブ年の始めに当たって、仲間と共にジバングコンソートのいい音楽を聞き、食事しながら語りませんか。

《ジバング・コンソート》

1986年にルネッサンス音楽を中心にアカペラで歌い「音楽を分かち合う」ことを目標に結成された6人の男声のヴォーカル・アンサンブルである。

レパートリーは、ルネッサンス音楽から世界各地の民謡、ビートルズナンバーなど幅が広い。心に染み徹るハーモニーで1996年、青山音楽奨励賞を受賞。

○実行委員長：大阪土佐堀クラブ 福永 勝

(☎ FAX 06-432-9623)

【個人消息】 柴田 健君は昨年12月より、肝臓を害されて、国立大阪病院に御入院中です。一日も早く御快癒を祈念いたします。

【訂正】 12月のブリテンに掲載の11月第1例会報告中、本文6,7行目「チャーターメンバーで現在」を誤りにつき削除願います。失礼しました。(Y.F.)

…… Y M C A ニュース …… (1月)

神田 尚人

* 早天祈禱会

日時：1月16日(金) 午前7時半~8時半
場所：大阪YMCA会館 10F チャペル
証し：灰谷 隅夫 氏(大阪Y常議員)
会費：300円(軽食代)

* 大阪YMCA会員のつどい - 講演と交流 - 「まだ見ぬ仲間に出会いませんか」

日時：2月28日(土) 午後4時半~7時
場所：大阪YMCA会館 会費：500円
講演：「日雇労働者の町・釜ヶ崎での生活相談」
(仮題)

講師：入佐 明美 さん

「地下足袋の詩一歩く生活相談18年」の著者入佐さんからご自身のボランティア・ケースワーカーとしての経験から、あいりん地区での労働者との交流を語っていただきます。講演の後は、参加者によるグループ懇談を通して新しい仲間を発見してください。

問合わせ：メンバーシップ サービス 06-441-0894

* 新年おめでとうございます。本年もセンテニアルY'sとクラブ員お一人ひとりが、主の恵みのもと、豊かな一年を過ごされますようお祈りいたします。また、Y'sメンズクラブとYMCAが協働の業に励みつつ、クラブからのご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

* さて、先月に比べ新年スタートの1月は、お伝えするニュースが淋しい状態です。そこで、先月の諸行事の報告をいたします。

* 「マザーテレサ写真展」と「土佐堀クリスマスのつどい」

マザーテレサその人やその行いを、もう実際に見ることはできませんが、彼女が語った言葉には自分や現代社会の在り方を鋭く問われる思いがします。

「心の飢え、誰からも必要とされていない、誰からも愛されていない貧しさこそ、一切れのパンの飢えよりもっとひどい飢えなのです」

クリスマスのつどいは、是枝さん(マザーテレサのことを話されたゲストスピーカー)のお話しもさることながら、宝塚カソリック教会の子ども聖歌隊の歌声に心が洗われました。

* クリスマス献金、ユースリーダー安全基金とも、1月末まで募集中です。よろしく、お願いいたします。またYMCA協力会費が未納の方も、よろしくお願いいたします。

【編集後記】 寅年の新年、虎の耳の裏側に白い斑点を知って、今年はY'sにも何か新しい発見がありそうだと期待しています。今年も栗山君の全員記念写真を掲載出来、多謝。皆様のご健勝を祈ります。(YF)